

PRESS RELEASE

報道関係各位

2026 年 9 月 7 日
ビープラッツ株式会社
クウジット株式会社

ビープラッツ、クウジット、AI 駆動開発に関連する
「AI 駆動開発ガイドライン」を発表

サブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats®」を展開するビープラッツ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 健治、以下、ビープラッツ）と研究シーズの社会実装に取り組むクウジット株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：末吉 隆彦、以下、クウジット）は、2026 年 7 月 10 日発表の AI 設計支援基盤の構築業務支援に関する事業提携契約に基づき、クウジットが開発・提供する AI 駆動開発支援基盤「AMANEX（アマネックス）」（<https://www.koozyt.com/solutions/amanex>）のビープラッツによる販売を開始しております。

この度、「AMANEX」提供先の顧客に対し、両社にて策定した「AI 駆動開発ガイドライン」を新たにメニュー化し提供開始することを発表いたします。

AI 駆動開発を実行に移すためには、社内でのルール決めとして「ガイドライン」を定める必要がありますが、顧客企業各社が手探りで「ガイドライン」を定めることは時間とノウハウを要します。そこで両社は、これまでの協業を通じて標準化を進めてきた「AI 駆動開発ガイドライン」を AI 駆動開発の導入・定着を支援するコンサルティングメニューとして提供開始いたします。

【AI 駆動開発における社内ガイドライン策定の必要性】

生成 AI や AI コーディングアシスタント（GitHub Copilot、Claude Code など）を開発プロセスに組み込む「AI 駆動開発」は、開発速度や生産性を大きく向上させる可能性を持っています。一方で、AI を何のルールもなく現場任せで導入すると、以下のようなリスクや混乱が生じやすくなります。

- ・エンジニアごとに AI の使い方・信頼度がバラバラになり、コード品質にばらつきが出る
- ・機密情報や個人情報を誤って AI サービスに入力してしまう

- ・ AI が生成したコードのライセンスや著作権の扱いが不明確なまま利用される
- ・ レビュー・テストを省略し、AI 出力をそのまま本番投入してしまう
- ・ 「誰が責任を持つか」が曖昧なまま障害・バグが発生する

これらは技術的な問題というより、組織としての運用ルールが存在しないことに起因します。だからこそ、AI 駆動開発を始める前に社内ガイドラインを整備することが不可欠です。

なぜガイドラインが必要なのか

1. 品質と一貫性の担保

AI の提案をどこまで信頼し、どのレベルの人間レビューを必須とするかを明文化することで、成果物の品質を一定に保てます。

2. セキュリティ・情報漏えいの防止

顧客データ、認証情報、非公開の設計情報などを AI ツールに入力してよいかどうかは、事前にルール化しないと個人の判断に委ねられてしまいます。

3. 法務・コンプライアンス対応

生成コードの著作権、OSS ライセンスとの整合性、契約上の制約（顧客との守秘義務など）を考慮したルールがないと、後から重大な法的リスクにつながる可能性があります。

4. 責任の所在の明確化

「AI が書いたから」は免責理由にならないという原則を共有し、最終的な承認・責任は人間の開発者・レビュアーにあることを明示する必要があります。

5. 生産性向上の再現性

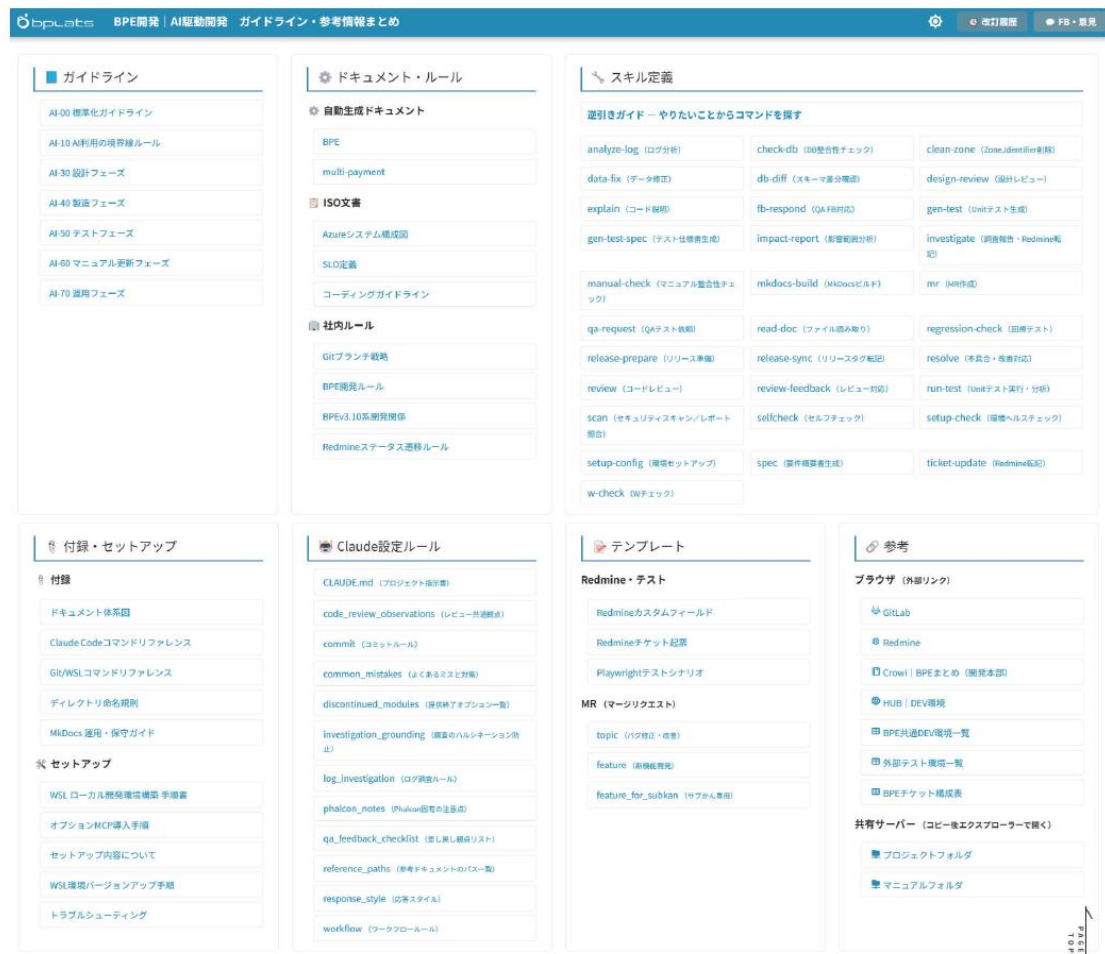
一部のメンバーだけが AI を使いこなしている状態では、組織全体の生産性向上にはつながりません。ベストプラクティスを言語化し共有することで、効果を組織全体に波及させられます。

6. 変化への対応力

AI ツールや利用規約は急速に変化します。ガイドラインを定めておくことで、新しいツール導入時にも一貫した判断基準で評価・採用ができます。

AI 駆動開発は「導入すること」自体が目的ではなく、「安全かつ継続的に生産性を高める仕組みとして根付かせること」が本来の目的です。そのためには、ツール導入と並行して社内ガイドラインを策定し、全メンバーが共通の判断基準を持てる状態を作ることが、成功の前提条件になります。

【AI 駆動開発ガイドライン（サンプル）】



【AI 駆動開発支援基盤「AMANEX（アマネックス）」について】

クウジットが開発・提供する AI 駆動開発支援基盤「AMANEX（アマネックス）」とは、設計支援基盤「AMANEX docgen」と知識支援基盤「AMANEX Knowledge」で構成されます。中核となる「AMANEX docgen」は、巨大なソースコード群を解析し、設計書・ER 図・DB 定義・依存関係・モジュール仕様を自動生成する設計支援基盤です。AI 任せでは必ず起きる「漏れ・欠損」をプログラムによる整合性チェックで検証し、大規模リポジトリを漏れなく文書化します。生成された設計ドキュメントは「人と AI の共通の設計基盤」として機能し、AI Agent との対話による仕様問い合わせ・影響調査・コーディング支援が可能であり、レガシー刷新の足場として有効です。

URL : <https://www.koozyt.com/solutions/amanex>

近日開催のセミナーのご案内

「【第2弾】技術責任者が語る。BplatsにAI駆動開発を全面導入したプロジェクトの舞台裏【対談】」をテーマに、クウジット株式会社 取締役 CAIO 宮島 靖 氏と、ビープラッツ株式会社 取締役副社長 CIO 宮崎 琢磨による対談、及び、講演を行います。

第2弾 技術責任者が語る。

Bplatsに**AI駆動開発**を**全面導入**した
プロジェクトの**舞台裏**

対談

2026.10.8 (木) 15:00-16:00

オンライン開催 参加無料

クウジット株式会社
取締役 CAIO
宮島 靖 氏
(日本ディープラーニング協会正会員)

bplats
ビープラッツ株式会社
取締役副社長 CIO
宮崎 琢磨

【セミナー開催情報】

タイトル：「【第2弾】技術責任者が語る。BplatsにAI駆動開発を全面導入したプロジェクトの舞台裏【対談】」

対談：「BplatsにAI駆動開発を全面導入したプロジェクトの舞台裏【対談】」

クウジット株式会社

取締役 CAIO 宮島 靖 (日本ディープラーニング協会正会員)

ビープラッツ株式会社

取締役副社長 CIO 宮崎 琢磨

講演：「AI駆動開発ガイドライン」の必要性と策定のポイント

ビープラッツ株式会社

取締役副社長 CIO 宮崎 琢磨

開催日時：2026年10月8日(木) 15:00～16:00

参加方法：事前登録制(無料)

開催形式：オンラインセミナー

詳細・お申込みサイト：<https://www.bplats.co.jp/news/2026/09/koozyt-seminar2/>

【ビープラッツについて】

ビープラッツは、ビジネスモデル転換や新たな価値創造を支えるサブスクリプションビジネスの「基盤」を通じ、日本企業の強みを生かしたビジネス革命を後押しすることをミッションとしております。新たなAIビジネス市場に対して『AI×Monetization』を掲げ、

複雑な『従量課金』を解き放ち、すべての AI をビジネスに変える、唯一無二の課金プラットフォームを提供して参ります。

会社名 : ビープラッツ株式会社
(証券コード：4381 (東京証券取引所グロース))
URL : <https://www.bplats.co.jp/>

【クウジットについて】

クウジットは研究シーズを社会へ実装する事業構想とテクノロジーの会社です。社名の由来である「空」と「実」をつなぐことを理念に、“Curiosity=知的好奇心”と“Imagination=想像力”を原動力に、研究者と共に未来の価値を構想し、社会に届けて参ります。私たちが目指すのは、テクノロジーを社会の良きことに活かすこと。データ分析や AI を最大限活用し課題をひも解き、新しい知を実社会の解決策に変えていきます。その一連のプロセスを知的好奇心に満ちたワクワクする挑戦と捉えております。研究から芽生える知の種をテクノロジーとデザインで育み、社会の中で循環させる。クウジットは、未来に貢献するイノベーションを共創する“Research to Society”のハブであり続けて参ります。

会社名 : クウジット株式会社
URL : <https://www.koozyt.com>

【本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先】

◆ビープラッツ株式会社 広報

TEL : 03-6262-9425 FAX : 03-6262-9439 E-mail : pr@bplats.co.jp